

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



令和 7 年 7 月 14 日
地 震 火 山 部

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う 緊急地震速報への影響について

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴い、当該システム観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で 12 秒程度遅くなる可能性があります。

7 月 13 日（日）13 時頃から、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムにおいて障害が発生しており、原因は現在調査中です。

このため、当該システム観測点の観測データを緊急地震速報の発表に活用できない状態となっています。当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で 12 秒程度遅くなる可能性があります（別紙参照）。

なお、津波の監視には影響はありません。また、津波警報や地震情報の発表までにかかる時間にも影響はありません。

復旧しましたら、あらためてお知らせします。

問合せ先：（東南海ケーブル式常時海底地震観測システムについて）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 吉田、栢野

電話 03-6758-3900（内線 5246、5287）

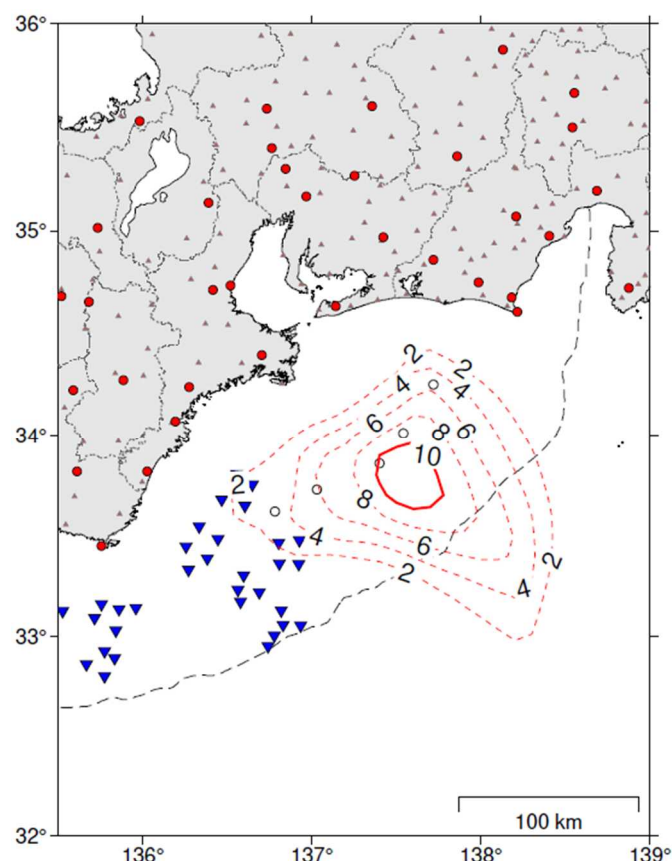
（緊急地震速報について）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 大河原、森脇

電話 03-6758-3900（内線 5242、5252）

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う 緊急地震速報への影響について

当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測点が設置されており、この観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



気象庁の観測点：●は緊急地震速報に活用する観測点、○は緊急地震速報への活用を停止する観測点を表す。

▼は国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム（DONET）観測点を表す。

図中に赤で示した等値線は、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの観測データ（上図：○）について緊急地震速報への活用を停止した場合、地震の発生場所によって緊急地震速報の発表が通常よりどの程度遅れるかを秒数で表したものです。